

義肢装具体験イベント (キャリアガイダンス)開催報告書

vol.09
2021.12

第9回

『義肢装具体験イベント (キャリアガイダンス)』

第9回となる「義肢装具体験イベント(キャリアガイダンス)」を、2021年11月17日(水)に東京都立井草高等学校にて開催いたしました。

今回のイベントは、将来の職業を意識する事で、学習のモチベーションを高める機会とする目的で、高等学校から当協会に講演の依頼がありました。

一年生の生徒を対象に、社会の様々な9つの職業の中から生徒が2つを選び、聴講するプログラムです。

業種内訳は、検察庁、財務省、新聞社、クレジットカード会社、銀行、通訳士、極地研究所、気象予報士、義肢装具士でした。

なお、当WGとしてガイダンスを実施するにあたり、コロナ禍であることから、感染防止対策を十分に行うことを徹底しました。

キャリアガイダンス プログラム

生徒達は9つの職業の中から、興味のある2つの仕事を選択します。「義肢装具士の職業」の講演に聴講を希望をした生徒26名に、義肢装具士が前半・後半に分けて2回講演を行いました。

講義は35分間で完結できるよう、他のイベントで実施している講義内容を要約して行いました。講演の内訳としては、講義(35分)、講師による体験義足の歩行実演(5分)、アンケート記入(5分)となります。

講義テーマは「障がいのある方々と義肢装具士の関わり」で、義肢と装具について、義肢装具士の具体的な仕事内容について説明しました。また、「体験義足による歩行実演」は、講師が壇上で膝継手付き体験義足を装着し、具体的な義足歩行について解説しました。それぞれのプログラムについて解説いたします。



講義「障がいのある方々と義肢装具士の関わり」

「障がい者・パラアスリート」と、その方々を支援する義肢装具士の職業について、理解を深めてもらう事を目的に講義をしました。義肢装具士の仕事がオーダーメイドであることや、患者さんの社会復帰をより近くで感じられる大切な仕事であるとの感想が出ていました。

講義に関しては、事前に希望を聞いていたこともあり、相応に興味を持って聞いてくれていました。

生徒の中の1人は知り合いに義足ユーザーがいて、車いすバスケットにも興味があるようで、質問もしてくれました。義肢装具士についても、以前から関心を持っていたようです。



<講演の様子>

体験義足による歩行実演

体験義足による実演歩行は、講義終了前に5分程の時間で行いました。膝継手に3R60を取り付けて歩行しましたが、やはり支えになる物が欲しいと思い、チョーク置きスペースに掴まって実演しました。事前に練習もしていましたが、ただ歩くだけでなくバウンス機構についてや、膝が折れるとどうなるかも見せたかったので、若干緊張しました。

実演する事で、分かり易かったとのコメントもあり、少ない時間でしたが実施して良かったと思いました。



<体験義足歩行実演の様子>

総括

今回のガイダンスには、様々な職業の方々が参加されていました。検察官、財務省、クレジットカード会社、銀行、通訳士、気象予報士等の中に義肢装具士も選出されていました。

今回、義肢装具士をガイダンスに参画された理由を幹事教諭に確認したところ、やはりパラリンピックの影響との事でした。

後述のアンケート結果では聴講した生徒達の反応はまちまちでしたが、講演中はほとんどの生徒が真剣に聞いてくれていました。上記の職業はどれも良く聞くものですが、その中で義肢装具士に26名の生徒が参加してくれた

事から、出来るだけ分かり易く興味を持ってもらえる内容を前面に押し出して講演を行いました。私の見る限りでは寝ている生徒は一人もいなかったのも、満足度では86%、障がいや義肢装具に関する理解は88%の生徒が良い反応を示してくれました。

井草高校は進学校として有名な高校で、進学先は国公立大学や有名私立大学です。制服も無く、校風も非常に自由な雰囲気でした。将来の職業として義肢装具士を目指してもらえるかは分かりませんが、この講演を聴講した事で、少しでも身の回りにいる「障がいのある方々」への気付きや、考え方が今よりも更に向上する事を切に願います。

アンケート(生徒の記述感想)

- ・お客さんに向き合った医療関係の仕事をしたと考えていたので、義肢装具士のお話が大変参考になりました。本日はありがとうございました。
- ・義足などをつけている人は、常に危険な状態というのを聞いて驚いた。これからさらに技術が発展していくと思うので楽しみ。
- ・身近で体験できないことで興味深かったです。
- ・1つ1つオーダー制で、1人1人に合ったものを作っていて、すごいなと思った。また、ものを作るのに沢山の工程があって、出来上がるのが大変なのだなと思った。
- ・今まで知らなかった仕事だったので、面白かったです。ありがとうございました。
- ・パラリンピック関係でしか見た事が無かったので、知識は0に近かったですが、とても分かりやすく内容が理解しやすかったです。
- ・幼いころから興味があった職業だったけれど、実際に話を聞く機会がなかったので、お話を聞いて良かったです。ありがとうございました。
- ・障がいがある人を助けられる、この仕事はカッコいいと思った。義足をつけて歩いているのを見て、難しそうだなと思ったし、自分は障がいが無い事がありがたいことだということが分かった。
- ・義肢装具士とは国家資格を有する仕事であり、いつ我々がお世話になるか分からない大切なものである。
- ・生きていくために必要な機能を支える義肢装具士は本当に重要な職職だと思った。
- ・自分で作って、自分が患者さんを支えて、ドクターとも話すのは様々な能力が必要だと思った。
- ・今まで義肢装具について関わりがありませんでしたが、今回の講座で知ることが出来て良かったです。
- ・注目されることが多いのは看護師、医師かもしれないけど、患者さんの社会復帰をより近くで感じられると知って、とても格好いいと思った。